

自己評価報告書

平成 23 年 4 月 23 日現在

機関番号：34522

研究種目：基盤研究（B）

研究期間：2008～2011

課題番号：20330075

研究課題名（和文）日本における近代通貨システムへの移行の世界史的意義：「決済」の視点から

研究課題名（英文） On the Transformation of the Monetary System in Japan: Evolution of the Modern Payment System in the Global Context

研究代表者

加藤 慶一郎 (KATO KEIICHIRO)

流通科学大学・商学部・教授

研究者番号：60267862

研究分野：日本経済史

科研費の分科・細目：経済学・経済史

キーワード：通貨構造、決済、商品流通、近代移行期、支払手段、手形、信用制度、貨幣

1. 研究計画の概要

本研究は貨幣史と流通史を架橋するため、貨幣が授受され取引が完了する「決済」の局面に着目し、その内実を実証的に明らかにしようとするものである。方法としては、近世・近代日本を軸に据え、同時期のアメリカ・ヨーロッパ・中国・インド各国の決済の実態を明らかにしつつ、相互の比較史のおよび関係史的分析も行う。

2. 研究の進捗状況

(1) 比較史・関係史

ヨーロッパにおいては、ニュルンベルク銀行（17世紀）が、アムステルダム銀行とは異なって小額貨幣の発行をも行っていたことが確認された。中国については、全国的通貨構造（1930年代）を明らかにする貴重な史料の存在が判明し、専門分野を越えて理解可能な、より簡明な形において、その複雑な通貨体制の特徴を描く準備が整った。インドの綿花取引決済（1920年代）における在来的な金融市場と近代的な金融市場の二重構造の存在とその実態などについて、資料調査も順調に行われ、その解析も適宜行われている。アメリカについては、日米の国立銀行制度の比較を予定しているが、在米連携研究者とのより効率的な協力体制を模索中である。

(2) 近代移行期日本

近世後期から明治初年までについては、地方の商家文書を中心に調査・収集と、その解析を進めることができている。大坂―江戸間などの近世の遠隔地取引では、両替商が構築した巨大な為替ネットワークに近年注目が集まっているが、仔細に検討してみると、意外にも現金による決済が根強く行われていたことが明らかになりつつある。また先行研究

において分厚い蓄積がある、土地売買証文を通じた、各地の基準貨幣の検出も実施されている。また、地方経済における、支払手段としての銭の重要性についても、事例研究の蓄積が行われている。このことにより、小額貨幣である銭が決済貨幣として重要だったという、近世通貨制度の特徴が析出されてきている。

3. 現在までの達成度

①おおむね順調に進展している

(理由)

研究分担者の研究地域・時代をバランスよく配置できたことがまず挙げられる。さらに、各自の史料博捜により、研究課題追求に適切な文書群を押さえられたことも重要であった。

4. 今後の研究の推進方策

今年度は、社会経済史学会と日本金融学会のそれぞれの全国大会において、分担研究者を中心にパネルディスカッションを組織するとともに、その内容を刊行物として公表する予定である。それらに寄せられた意見・批判を摂取しながら、ヨーロッパ・中国・インドとの比較史・関係史をさらに深めていきたい。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計5件)

①西村雄志、銀の流通から見た世界史の構築、グローバル化と銀、5-28、2010、無し

②浦長瀬隆、17・18世紀中津藩城下町における貨幣流通、国民経済雑誌、201、1-30、

2010、無し

③岩橋勝、近世畿内周縁地域の銭匁遣い——北近畿・宮津藩領を中心として、松山大学論集、20、189-223、2008、無し

④名城邦夫、中世後期・近世初期西ヨーロッパ・ドイツにおける支払決済システムの成立、名古屋学院大学論集（社会科学編）、45-27、71、2008、無し

⑤鎮目雅人、日本における近代通貨システムへの移行を巡って—決済における取引費用の観点から—、国民経済雑誌、197、45-64、2008、無し

〔学会発表〕（計5件）

①加藤慶一郎、近代日本における通貨統合の定着過程—明治・大正期の紙幣類似証券を中心に—、社会経済史学会近畿部会夏期シンポジウム、2010年8月、大阪市立大学

②岩橋勝、銭匁勘定、銭遣いの意義—小額貨幣と経済発展との関連で—、社会経済史学会近畿部会夏期シンポジウム、2010年8月、大阪市立大学

③城山智子、1929年世界経済危機下の中国経済、中山大学垂太学院・歴史系聯合学術検討会、2008年12月、中山大学（広州市、中華人民共和国）

④西村雄志、The Role of Small Money for the Industrialization of Bombay around the 1920s、Joint Workshop on Labour-intensive Industrialization in South and Southeast Asia、2008年12月、Inamori Foundation Memorial Hall

⑤加藤慶一郎、Money and travel in pre-modern Japan、12th International Conference of the European Association of Japan Society、2008年8月、Salento, University, Italy

〔図書〕（計2件）

①城山智子、江蘇人民出版社、大蕭條時期的中国：市場、國家與世界經濟（1929-1937）、2010年、250頁

②城山智子、名古屋大学出版会、大恐慌下の中国：市場・国家・世界經濟、2010年、358頁